



「東京ラグビー ファンゾーン 2017」 報告

2017/06/24

東京ラグビーファンゾーンin味スタ西競技場

6月24日（土）、調布市の味の素スタジアムで行われたラグビー日本代表VSアイルランド代表戦。これにあわせて、味の素スタジアム西競技場では、「東京ラグビーファンゾーン2017」が開催されました。このイベントは、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップに向けて、ラグビーの楽しさ、面白さをより多くの方に知っていただくという趣旨で開催されました。試合の観戦に来た方から地元の子どもたち、国内外のラグビーファンといった多くの方が、会場を訪れていました。

このイベントの運営ボランティアとして、本センターを通じて11名の学生が参加。活動は10時00分から15時30分までの午前と、12時30分から18時00分までの午後とに分かれて行いました。

・活動の様子

午前の活動には、7人の学生が参加。入場門での参加者の誘導係と、子どもたちが遊べる遊技場での案内係とに分かれて活動しました。

誘導係は入場門にて、会場を訪れた方の列の整理や荷物確認へのご協力を呼びかけました。会場を訪れた方と最初に接する活動ですので、ベテランのボランティアと一緒に笑顔を大切にして活動してくれました。

遊技場での案内係は、「ふわふわゆりーと」のトランポリンコーナーと、ラグビーボールでのストラックアウトを担当。

トランポリンは、大きな「ゆりーと」バルーン人形の中を飛んだり跳ねたりする遊具でした。梅雨にもかかわらず快晴だったため、バルーンの中は大変暑かったのですが、子どもたちからは大人気で、行列が出来ていました。並んでいる子どもたちは、自分の番を今か今かと待ちわびてウズウズしている様子でしたが、学生たちは彼らに笑顔でながら、子



どもたちが並んでいる間も楽しいイベントとなるよう盛り上げていました。

ストラックアウトも、トランポリン同様大人気でした。ラグビーボールを用いるため、とても投げにくそうにしていたが、ラグビーの難しさと楽しさを実感できる遊びだったと思います。参加した子どもたちには、倒した的の数のキャンディをプレゼントしました。

午後からの参加者は、ラグビー体験コーナーの受付と、小さなお子さんをもつ方用の控室での活動とを担当しました。

午後の活動には4人の学生が参加。ラグビー体験コーナーでは、ラグーマンがボールの投げ方や試合のルールの指導などを通じて、子どもや大人たちにラグビーの面白さを伝えてくれました。控室の活動では、小さなお子さんをお持ちの方がゆっくりと休めるようリラックスした雰囲気をつくっていました。

今回参加した学生の中には、今年から様々なボランティア活動に取り組んでいる学生がおり、「ボランティアは活動するたびにその楽しさが実感できている」と話していました。

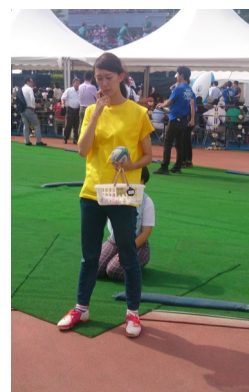
・最後に

今回のイベントでは、ラグビーをよく知る人もあまり知らなかった人も、誰でもラグビーの面白さを楽しむ・知ることが出来ました。こうしたイベントを通じて、2019年大会を盛り上げる一役を担えればと思います。



パブリックビューイング

会場には、味の素スタジアムで行われている試合をライブで映し出す、パブリックビューイングも設置されていました。そのため、試合時間中は、みんなで日本代表の試合を応援。残念ながら敗れてしまいましたが、2019年にもこういった形で皆でラグビーを応援したいな、と思える良い試合だったと思います。



イベントの様子

ラグビー体験では、タグラグビーという、接触プレーの無いラグビーを試合形式で行っていました。子どもたちはお互い初対面だったようですが、敵味方に分かれ、プレーを楽しんでいました。